

物質科学専攻 専門科目

出題意図と略解

数学 第1問

出題意図:線型代数についての基本的な概念を問う.

- (1) $a \neq 1$ かつ $b = 2$.
- (2) $a - b \neq -2$.
- (3) $a - b \neq -2$ または $(a, b) = (4, 6)$.

数学 第2問

出題意図:群についての基本的な概念を問う.

- (1) $a, b \in N(S)$ とする. $s \in S$ とする. このとき $bs = t_1b$ を満たす $t_1 \in S$ が存在する. よって $at_1 = t_2a$ を満たす $t_2 \in S$ が存在する. すると $(ab)s = t_2(ab)$. 同様にして $s(ab) = (ab)u$ を満たす $u \in S$ の存在も分かる.
- (2) 前問 (1) より $a \in N(S)$ ならば $a^{-1} \in N(S)$ であることを示せばよい. $a \in N(S)$, $s \in S$ とする. このとき $as = ta$, $sa = au$ を満たす $t, u \in N(S)$ が存在する. すると $a^{-1}s = ua^{-1}$, $sa^{-1} = a^{-1}t$.
- (3) まず $H \subset N(H)$ を示す. $h \in H$, $s \in H$ とする. ここで $t = hsh^{-1}$, $u = h^{-1}sh$ とおくと $t, u \in H$ で $hs = th$, $sh = hu$. よって $h \in N(H)$. 次に正規性は, $h \in H$, $a \in N(H)$ としたとき $ah = ta$ を満たす $t \in H$ が存在するから $aha^{-1} = t \in H$ となることで分かる.

数学 第3問

出題意図:内積空間についての基本的な概念を問う.

- (1) $\langle \alpha x + y, \alpha x + y \rangle = \alpha \bar{\alpha} \langle x, x \rangle + \langle \alpha x, y \rangle + \langle y, \alpha x \rangle + \langle y, y \rangle = |\alpha|^2 \|x\|^2 + \langle \alpha x, y \rangle + \overline{\langle \alpha x, y \rangle} + \|y\|^2$ と $\langle \alpha x, y \rangle + \overline{\langle \alpha x, y \rangle} = 2 \operatorname{Re} \langle \alpha x, y \rangle = 2 \operatorname{Re}(\alpha \langle x, y \rangle)$ より.
- (2) $\langle x, y \rangle \neq 0$ としてよい. このとき $\|x\| \neq 0$. 前問 (1) で $\alpha = t \overline{\langle x, y \rangle}$ ($t \in \mathbb{R}$) とすると $0 \leq \langle \alpha x + y, \alpha x + y \rangle = |\langle x, y \rangle|^2 \|x\|^2 t^2 + 2|\langle x, y \rangle|^2 t + \|y\|^2$. ここで実数 t の任意性に注意すればよい.
- (3) 前問 (2) より特に $\operatorname{Re}(\langle x, y \rangle) \leq |\langle x, y \rangle| \leq \|x\| \|y\|$. この不等式を前問 (1) で $\alpha = 1$ としたものに適用すると $\|x + y\|^2 = \|x\|^2 + 2 \operatorname{Re}(\langle x, y \rangle) + \|y\|^2 \leq \|x\|^2 + 2\|x\| \|y\| + \|y\|^2 = (\|x\| + \|y\|)^2$.
- (4) 前問 (2), (3) より $|\langle x_k, y_k \rangle - \langle x, y \rangle| \leq |\langle x_k, y_k - y \rangle| + |\langle x_k - x, y \rangle| \leq \|x_k\| \|y_k - y\| + \|x_k - x\| \|y\| \leq (\|x_k - x\| + \|x\|) \|y_k - y\| + \|x_k - x\| \|y\|$. 後は $k \rightarrow \infty$ とすればよい.